

学校・地域・家庭の連携に関する社会教育の取り組み

資料10

No.	名称	事業目的及び根拠	事業内容	令和5年度実績		令和6年度予定	
					決算額 (千円)		予算額 (千円)
1	社会教育委員会議	学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から12名の社会教育委員を委嘱する。教育委員会が行う社会教育行政に対して、定例会や研修会などの活動を通して、行政外の立場から広く町民の皆さんの意向を反映した意見をいただき、社会教育活動の拡充や振興を図っていく。	●委員12名(任期:令和6年4月1日～令和8年3月31日、任期は2年) ●定例会において社会教育上の課題事項について審議する。	●定例会3回 別途1回は管外研修を実施	333	●定例会3回程度の開催を予定 ●その他町行事への参加	590
				●研修会等への参加(山城地方総会、京都府総会、京都府研究大会、近畿地区研究大会)		●研修会等への参加(山城地方総会、山城地方研修会、京都府総会、京都府研究大会、近畿地区研究大会)	
2	青少年健全育成事業	乳幼児期から青少年期にいたるまでの諸課題の解決を図るため、各種研修会等を開催するとともに、児童・生徒に対する学習・体験の機会を提供する。 また、青少年の健全育成を図るための活動を進める社会教育関係団体等の活動を支援する。	●PTA連絡協議会に対する活動助成。各校PTAとの共催による講演会を実施する。	●PTA連絡協議会に対する活動助成	0	●PTA連絡協議会に対する活動助成 京都府PTA協議会研究大会 10/27(日) けいはんなプラザ	514
			●青少年健全育成協議会に対する活動助成	●青少年健全育成協議会に対する活動助成 ●防犯ブザー配布、夏季健全育成パトロール、青少年健全育成標語募集事業等	685	●青少年健全育成協議会に対する活動助成 ●防犯ブザー配布、夏季健全育成パトロール、青少年健全育成標語募集事業等	950
3	子ども祭り事業	「こどもを守る町」宣言や精華町教育大綱の趣旨を踏まえ、子どもが楽しみながら体験・学習し、世代を超えた人と人との交流を通して文化・芸術を伝承する機会とするため、地域全体が協働・連携し、様々な体験学習やイベントなどの取り組みを実施する。	●「精華町子ども祭り」を開催し、子どもたちに体験を通した学習の場を提供する。	●令和5年11月19日(日)けいはんなプラザメインホール せいica祭りと同日開催(教育委員会主催) ステージの部(6団体)、体験コーナー(精華まなび体験教室5小学校による合同開催)、観客約2,000名	1,723	●令和6年11月17日(日)けいはんなプラザ せいica祭りと同日開催(ステージの部、体験コーナーの部)を予定	2,000
4	精華まなび体験教室事業	子どもたちの安全・安心な居場所を確保し、文化活動やスポーツ活動などを地域の方々の協力を得て実施することにより、地域社会の中で、子どもたちを心豊かで健やかに育てる環境づくりを推進する。	●精北教室:年3回程度実施(土曜日午前)。学習、文化活動、異世代交流等。	●新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い活動が再開できた。 第1学期「つりさげクマ作り」 第2学期(子ども祭り体験の部)「くるくるレインボー作り」 第3学期「フワフワUF0づくり」 約1,000名の児童参加 また、各学校に1名配置するまなびコーディネーターと準備会・協議を開催した。	463	●年間3回程度実施 第1回 6/8(土)マジックショー	792
			●川西教室:年3回程度実施(水曜日放課後)。学習、文化活動、異世代交流等。			●年間3回程度実施 第1回 6/26(水)万華鏡づくり	
			●山田荘教室:年3回程度実施(水曜日放課後)。学習、文化活動、異世代交流等。			●年間3回程度実施 第1回 7/3(水)万華鏡づくり	
			●東光小教室:年3回程度実施(土曜日午前)。学習、文化活動、異世代交流等。			●年間3回程度実施 第1回 6/22(土)ヒップホップダンス	
			●精華台教室:年3回程度実施(土曜日午前)。学習、文化活動、異世代交流等。			●年間3回程度実施 第1回 6/29(土)ヒップホップダンス	
5	地域学校協働本部事業	地域と学校が相互にパートナーとして連携・協力し、互いに意見を出し合い、学び合う中で地域の将来を担う人材の育成を図るとともに、地域住民のつながりを深めることにより、自立した地域社会の基盤の構築・活性化を図る「学校を核とした地域づくり」を推進し、地域の創生につなげて行く。	●平成20年度から、精華南中学校区(山田荘小学校・精華南中学校区サポーター会議)の地域学校協働活動に取り組んでいる。	●地域コーディネーター:1名、週4日間程度 ●ボランティア参加者のべ人数:精華南中学校、山田荘小学校約140名 ●ボランティアによる協働活動を実施	2,220	●地域コーディネーター:1名、週4日間程度 ●ボランティアの協力を得て、地域学校協働活動を実施	2,589
			●平成22年度から、精華中学校区(精華中学校コミュニティ協議会)の地域学校協働活動に取り組んでいる。	●地域コーディネーター:1名、週4日間程度 ●ボランティア参加者のべ人数:精華中学校、精北小学校、川西小学校約160名 ●ボランティアによる協働活動、コミュニティースクールとの連携に取り組む。		●地域コーディネーター:1名、週4日間程度 ●ボランティアの協力を得て、地域学校協働活動を実施 ●コミュニティースクールとの連携を実施	
			●平成25年度から、精華西中学校区(精華西中学校区地域連携プロジェクト)の地域学校協働活動に取り組んでいる。	●地域コーディネーター:1名、週4日間程度 ●ボランティア参加者のべ人数:精華西学校、東光小学校、精華台小学校約140名 ●ボランティアによる協働活動を実施		●地域コーディネーター:1名、週4日間程度 ●ボランティアの協力を得て、地域学校協働活動を実施	
6	中学校文化部活動の地域移行に向けた実証事業	中学校における学校単位での部活動の継続が困難になりつつある状況や、教員の働き方改革の推進が必要となっている状況に鑑み、休日の学校部活動に代わり、地域において子どもたちの多様な活動の機会を確保できるよう地域移行に向けた実証事業を推進する。	文化部活動の地域移行	●委託先:けいはんなユースウインドオーケストラ(KYWO) ●練習日:月3回程度、全11回、各回3時間程度 ●内容:パートレッスン、セクションレッスン、合奏レッスン	1,006	●委託先:けいはんなユースウインドオーケストラ(KYWO) ●練習日:1期4回・全6期24回(概ね週1回)、各回3時間程度 ●内容:パートレッスン、セクションレッスン、合奏レッスン	1,456
			体育部活動の地域移行	—	—	実証事業対象クラブを調整し、9月(又は10月)から月2回程度実証事業予定	1,000